

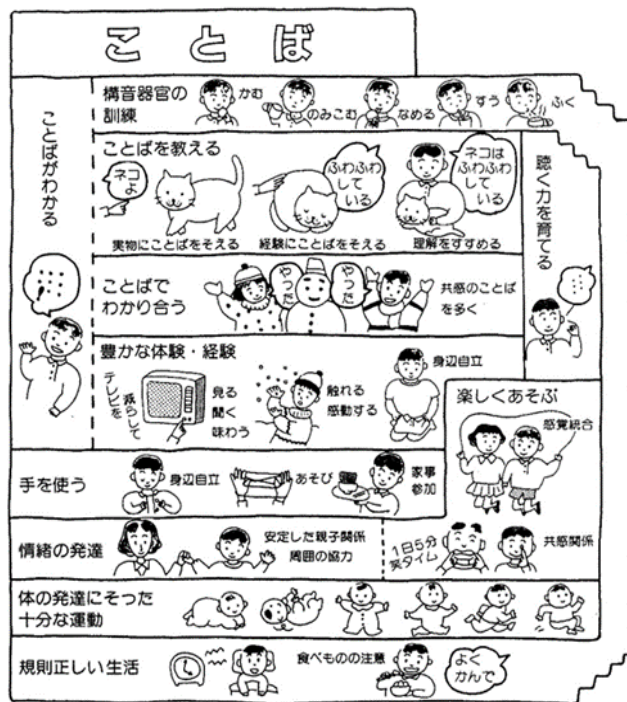
こどものこころを育てよう

●ことばを育てるくらしの工夫●

右の図は、脳のはたらきと「ことば」の力を関連させたことばのビルです。

「からだづくり」「こころ育て」が土台、
「ことばを話すちから」はビルの最上階。

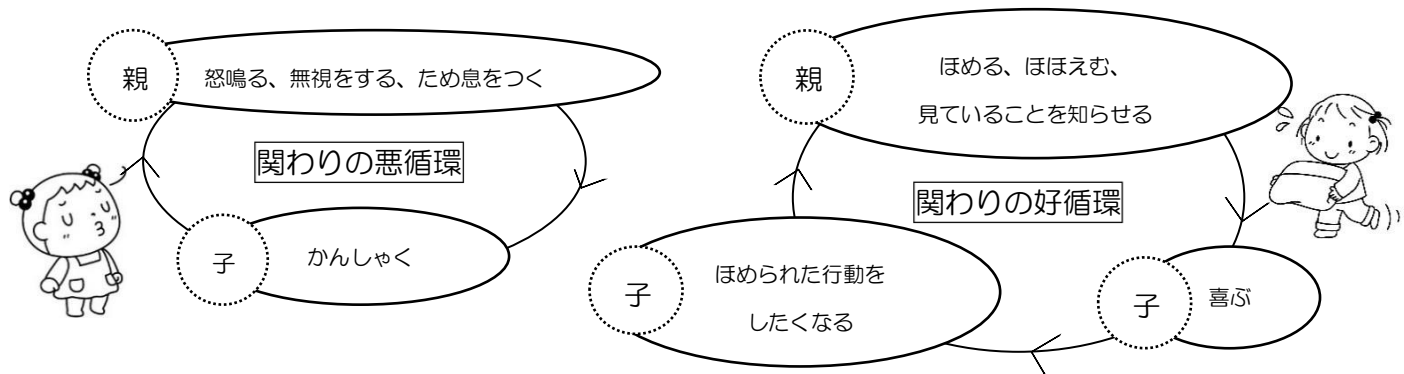
ビルを建てるときに、1 階から順々に建てていくように、生活を基礎に 1 階ずつ丁寧に積み上げていきましょう。



中川信子 (1998). 健診とことばの相談 ぶどう社

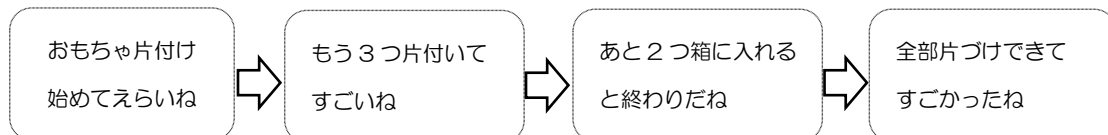
●関わり方のコツ●

「関わりの好循環」はよい親子関係につながり、子どもの発達を促す助けとなります。



①ほめるタイミング

25%ルール：1 つの行動のなかで何度もほめることができます



②ことばの具体例

ほめるとき

具体的に出来た行動を伝えることで、子どもは次何をしたらよいかわかりやすくなります。

ほめ言葉の前に行動を付け加えてみましょう。

例) できたね × お片づけできたね ○

指示を出すとき

子どもは、“叱られた”イメージが残るだけで何がだめなのかわかりません。

「(してほしい行動)をしようね」と声をかけましょう。

例) ダメ！テーブルからおりなさい！ ×
テーブルからおりようね ○